

学生による地域にぴったりの健康づくり提案～オーダーメイドでヘルスアップ～（愛媛県砥部町）

取組概要

住民の健康習慣化には、身近な仲間と一緒に自分たちが継続しやすい方法で取組むことが効果的である。一方で、行政が行う健康づくりでは、仲間づくりの単位である自治会レベルの健康ニーズに十分対応しきれていない状況がある。砥部町では、地元大学の保健師学生実習を受入れしていることを活かし、学生とともに各自治会の住民健康ニーズの聴き取りと対話から、その地区に合った健康づくり(オーダーメイドヘルスアップ)を提案することで、その後の住民の健康習慣化や仲間づくりにつなげている。

人口 21,376 人 (H30.1.1現在)

担当 保険健康課



住民への聴き取りから地区の強みと課題を探索

取組の効果

- 健康教育参加をきっかけに自主グループ化と、健康習慣の定着化。  
☞ **健康づくりをする仲間づくりと継続した健康習慣化の効果！**
- 既存グループも「健康」を意識し始めて、ヘルスアップを開始。  
☞ **既存組織を活用したヘルスアップへの行動変容の効果！**
- 職員の地区への愛着醸成と仕事へのモチベーション向上。  
☞ **わが町の推進力となり得る人材育成の効果！**

創意・工夫した点

- ・実習の機会を町の課題解決の機会に。
- ・健康づくりをしたい地区を実習フィールドに設定し、積極的に介入。
- ・学生数を活かし、住民健康ニーズを把握。
- ・住民同士の仲間づくりのきっかけにすべく、集会場で集団健康教育を実施。
- ・健康習慣の定着まで、定期的にフォロー。

他団体へのアドバイス

- ・保健師や看護師学生の実習受入れは、ほとんどの自治体で行われており、同様の展開は可能。
- ・住民へ働きかける前に行う地区の健康課題の探索は、多くの事業に応用が可能。
- ・住民、学生、そして職員のトライアングル人材育成が実現できる！



住民と対話しオーダーメイドヘルスアップを提案